

令和4年度 第1回 くるめ支え合うプラン推進協議会 議事要旨

開催要領

- 1 日時 令和4年12月19日（月） 13時30分～15時00分
- 2 会場 WEB会議（久留米市総合福祉センター2階大会議室）
- 3 出席者 委員18名
佐藤(美)委員、江頭委員、松延委員、縄崎委員、堤委員、橋本委員、津野委員、藤野委員、河口委員、村井委員、森山委員、原口委員、菊池委員、刈茅委員、濱崎委員、宮原委員、吉田委員、佐藤(寿)委員
- 4 欠席者 委員7名
高尾委員、坂井委員、矢野委員、高田委員、永野委員、田端委員、渡邊委員
- 5 傍聴者 1名

次第及び議事要旨

- 1 開会
会 長：本日は、市の再犯防止推進計画の確認とくるめ支え合うプランの進捗について活発な意見交換をお願いしたい。
- 2 報告事項
 - (1) 令和3年度 第3回 協議会 議事要旨
※資料配布のみ
 - (2) 市再犯防止推進計画の策定について**【主な質疑応答・意見等】**

会 長：具体的な取組みやコラム等も追加され、わかりやすくなった。

委 員：県内他保護区の計画と比べても、久留米の計画はオリジナリティーがあり、わかりやすい形にいただいた。当初、再犯防止推進計画単体での作成も検討されたが、支え合うプランの分冊として十分効果があると思う。

会 長：この計画も、地域共生社会の実現に向けた一歩だと思う。

委 員：BBSの活動状況について教えて欲しい。

事務局：コロナ禍前では、久留米大学の学生が子どもたちの学習支援をしたり、放課後のサポートをしていた。現在は、もう一度活動を立ち上げようという段階。

委員：現在は少人数での活動になっている。夏休みに子どもに勉強を教えたり、バーベキュー会を開催したりしている状況。

委員：学生の取組みを聞くと元気をいただく。ありがたい。

3 協議事項

(1) 久留米市の重層的支援体制整備事業について

【主な質疑応答・意見等】

委員：支援会議にはどのような手順でケースを持ち込めるのか。

事務局：支援の必要性がありそうだが、本人の同意がないケースについて、各相談支援機関からケースが持込まれている。

委員：地域包括支援センターでは、民生委員等から持ち込まれたケースについて、関係機関や民生委員等に声かけして地域ケア会議を開催し、検討している。一方、世帯の中に高齢分野以外の課題があり、解決が難しい場合に重層的支援体制整備事業との連動を意識しながら進めている。今後、関係機関や民生委員等とも検討しながら、必要に応じて重層的支援会議や支援会議にケースを持込んでいきたい。

委員：支援が必要な高齢者がいた場合、地域包括支援センターに会議の開催を打診したらよいか。また、支援の進捗状況について民生委員へのフィードバックが足りないと感じる。

委員：地域包括支援センターでは、地域ケア会議を開催する場合には民生委員にも声かけさせていただいている。支援の進捗状況についても、丁寧にフィードバックするよう心掛けたい。

委員：参加支援事業について、すでにワークダイバーシティ事業所として登録済の企業がいるのか。

事務局：参加支援事業者はこれまでも企業との接点は多く、来年度、ワークダイバーシティ事業所として50社に登録してもらえるよう働きかけている。

委員：再犯防止の観点から出所者の就労支援として協力雇用主制度があるが、本人の希望と業種が合わないことがある。今後、重層的支援体制整備事業とも連携して支援を進めていきたい。

(2) 久留米らしい重なり方デザイン事業について

【主な質疑応答・意見等】

委員：重なり方デザイン事業で関わっている5ケースについて、どのように選定し支援しているのか。

事務局：相談支援機関、市社協が関わっているケースから選定。できるだけフォーマルとインフォーマルな力を交わらせて支援している。

委員：今後は、関わるケースを増やしていくのか。

事務局：この事業は、フォーマルとインフォーマルの力を交わらせて支援する形を見出していくもの。事業を通じて見えてきた、新しい関わり方等を来年度の事業に反映していきたい。

委員：困っている人達は、どのようにしてこの事業を知ったらいいか。

事務局：フォーマルとインフォーマルの両者が交わり、支援が届いていない現状を共有できる場にもなっている。それを踏まえて、今後の展開を考えていく。

会長：この事業を実施している人達はフットワークが軽く、様々なケースに出会うことが多いと思う。みんなで一緒にやる中で、新たな解決方法が見つかっていくことに期待したい。

4 その他

- ・久留米大学地域連携センター「つながるめ」の紹介
- ・「つながるスイッチ」の紹介

【主な質疑応答・意見等】

会長：「つながるめ」は大学が地域と繋がる場所として設置した。学生が地域と繋がり育っていく場としても活用していきたい。誰でも予約できるので、皆さんにもご利用いただき、地域福祉を推進してもらえたらと思っている。

5 閉会